

2019年10月10日

各位

小野薬品工業株式会社

**「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に賛同**

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役：相良暁、以下、当社）は、このたび、「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下、TCFD）」の提言への賛同を表明しました。

TCFDは、主要国の中央銀行や金融規制当局などが参加する国際機関である金融安定理事会（FSB）によって2015年12月に設立されたタスクフォースです。2017年6月に気候変動がもたらす財務的影響を把握し、開示することを目的として、以下の提言を公表しています。

- ・気候関連のリスクと機会について情報開示を行う企業を支援すること
- ・低炭素社会へのスムーズな移行によって金融市場の安定化を図ること

当社は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、革新的な医薬品の創製によって、健康で健全な社会づくりを推進しています。当社の事業活動が健全な地球環境に支えられて成り立っている事を認識し、環境課題の解決に向けた取り組みを強化することは企業の責任であると捉えています。

当社は、2019年6月に、2050年に向けた環境ビジョン「Environment Challenging Ono Vision (ECO VISION 2050)」を策定しました。ECO VISION 2050の実現に向けて、温室効果ガス排出実質ゼロをめざす中長期目標を設定し、国際的な環境団体であるScience Based Targets (SBT) イニシアチブから承認を取得しています。

今後も、ECO VISION 2050の実現に向けて取り組みを進めるとともに、気候関連リスクと機会に関する評価や管理を行い、適切な情報開示を行っていきます。



TCFDに関する詳細は、「TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」（英語）のホームページ（<https://www.fsb-tcfcd.org/>）をご参照ください。

以上

＜本件に関する問い合わせ＞  
小野薬品工業株式会社 広報部  
TEL：06-6263-5670  
FAX：06-6263-2950